

和し 鍛え 学ぶ

3月3日。41回生が卒業するまで卒業式当日を入れてあと3日になりました。今日は午前中に各種表彰と初めての全校練習、そして午後は「卒業生を送る会」を行いました。いよいよ卒業が近づいてきたと感じます。特別なこの時期を、それぞれの学年が、それぞれの立場で過ごしています。

明日は卒業式予行練習です。卒業式練習はただの練習ではありません。儀式のために、ただ形をそろえるだけなら、大して意味はないと考えます。その過程を通して在校生も卒業生も心が育ち、成長していくことに意義があります。残りわずかな時間。卒業生にとって二度とない中学校卒業の節目を学校全体、生徒全員で大切にしていきたいと思えます。



響き合う

今日の3時間目に、初めて在校生と卒業生が一堂に会して卒業式練習を行いました。それぞれの学年で練習がしっかりできていたことと、生徒たちの気持ちが高まっていたことで、全校練習が良いものになりました。良い練習とは何か。それは、その時間が、生徒たちの心を育てるのにつながっていることだと思います。行事に向けた準備の時間は、そのことが一番大切であると自分は常に考えています。

大規模校である本校は、他の学校と同様、コロナ禍の影響で全校が集まることができない時期が数年続きました。ですが、中学校で一番大切にしたいことは、縦と横の心の交流、そして生徒たちの心の成長です。先輩の姿を見て後輩が育ち、後輩がいるから先輩としての誇りを姿で示そうと努力する。だからこそ全校で行うことに意義があります。合唱コンクールも、体育祭も、日々の教育活動もみんな同じです。心が響き合って生徒が成長する。そして、それらの集大成が卒業式です。

生徒たちには、卒業式までの練習を大切に、それぞれの立場で感じる気持ちを大切に味わってほしいです。体育館いっぱい心と歌声が響き合い、高めあう。そんな卒業式になることを願っています。



温かな時間

1, 2年生の皆さん、今日は素敵な「卒業生を送る会」をありがとうございました。特に2年生は、11月の定期テストが終わった直後から、自然教室と卒業生を送る会を並行して準備してきました。時間が限られた中での準備は、本当に大変だったと思います。

今日の会が終わった後で、2年生の先生がこんな話をしてくれましたね。

「会の始まりを待っている3年生がこんなことを言っていました。『今日は、卒業式より卒業式だ』と。卒業式は卒業式として大切だけれど、自分たちの3年間を振り返り、そして、後輩との別れをするという意味で、今日の「卒業生を送る会」は3年生にとってすごく大切で、意味のある会だと感じました」と。

本当にそうだと感じます。3年生の先輩たちは、皆さんの演技に思いっきり笑ったり、拍手をしたり、皆さんの合唱を心で受け止めながら聴いたり、私は横で3年生の表情を見ていて、それぞれの人が、後輩たちが贈ってくれたものを一生懸命に受け取ろうとしていたように感じました。

そして、1年生の皆さん、2年生と力を合わせて先輩のために装飾などの準備を一生懸命に頑張ってくれてありがとう。来年は皆さんが2年生の立場で頑張る番です。今日感じたことを忘れずに、来年は立派に42回生からバトンを受け取る43回生に成長してほしいと思います。

最後に、3年生の皆さん。今日は、後輩たちが準備してくれた「送る会」に、たくさんの拍手や笑い、盛り上がりで温かく応えてくれたこと、さすが素晴らしい最上級生の姿でした。皆さんのやさしさ、皆さんの成長をととても嬉しく感じました。明日の予行練習では、41回生として後輩に何が残せるか考えて、その思いをしっかりと形にしてくれると信じています。残り3日、仲間や先生、後輩との時間を大切にしてください。

